

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(省令で定める基準単位数を満たす単位分科目のみ抜粋)

学校名：学校法人三幸学園 札幌ビューティーアート専門学校

学科名：トータルビューティー科

授業科目名	単位数
デッサン・イラストレーション	2
皮膚学 I	2
生理学 I	2
合計	6

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	サロンマナー I		
必修選択	必修	(学則表記)	サロンマナー I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	サービス接遇検定公式テキスト 3 級 サービス接遇検定実問題集 3 級 就職ハンドブック			出版社	早稲田教育出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける		
到達目標	サービス接遇検定 3 級に合格する。 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。		
評価基準	テスト 50%、課題・提出物 30% 授業態度等 20%		
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者 		
関連資格	サービス接遇検定 3 級		
関連科目	就職対策		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	菅田 美穂	実務経験	○
実務内容	医療機関にて局長秘書として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ビジネスマナーとは	授業の目的・到達目標について ビジネスマナーを学ぶ意味を知る
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められているものについて
3	サービススタッフの資質	必要とされる要件の復習・従業要件について
4	専門知識・一般知識	サービス知識、従業知識、一般知識について
5	対人技能（敬語）①	様々な接遇用語・敬語について

6	対人技能（敬語）②	尊敬語・謙譲語・二重敬語について
7	対人技能（一般的なマナー）	動作を行う際の基本・ポイントについて
8	対人技能①	人間関係について
9	対人技能②	一般的なマナー・接遇者としてのマナーについて
10	対人技能③	話し方について
11	実務技能①	問題処理について
12	実務技能②	環境整備・金品管理について
13	社交業務	社交儀礼の業務について
14	総復習	1～13回までの総復習
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カラーコーディネートI		
必修選択	必修	(学則表記)	カラーコーディネートI		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新配色カード パーソナルカラーコーディネート検定テキスト パーソナルカラーコーディネート検定課題集		出版社	日本色研事業(株) クリエスクール	

科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識、法則、技法を理解する。		
到達目標	パーソナルカラーコーディネート検定に合格する。 美容の現場で色に関して適切な提案ができるようになる。		
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業態度等 20%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	笹谷 幸恵	実務経験	<input checked="" type="radio"/>
実務内容	カラーリストとしてフリーで活動。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーとは、色の連想	授業の目的・到達目標について パーソナルカラーを学ぶ意味を知る
2	色の心理的効果	色の持つイメージと性質、色の心理的効果について
3	色と光について①	色の見える仕組み、光について
4	色と光について②	眼（視覚）のしくみについて
5	色の特徴について①	無彩色と有彩色、三属性について、色相環の作成

6	色の特徴について②	三属性について、色相環・トーン図の作成
7	色の特徴について③	トーンについて
8	配色（色相、トーン）	配色、色相、トーンについて
9	配色（配色の応用、イメージ配色他）	配色の応用編について 条件にあった配色をつくる
10	対比と同化	対比と同化について
11	混色・慣用色名	混色の原理・慣用色名について
12	パーソナルカラーの基礎①	パーソナルカラーの基礎について
13	パーソナルカラーの基礎② 復習	各シーズンの特徴について、復習
14	総復習	1～13回までの総復習
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目的基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	7つの習慣」テキスト、夢のスケッチブック			出版社	ユアサポート
科目的基礎情報②					
授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を發揮して物事にチャレンジできる人材に成長する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を發揮できる様になる 				
評価基準	小テスト／レポート：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	キャリア支援／就職対策等				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	川野 愛佳	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	未来デザインプログラム授業への価値付けを行い、日誌を書くことの意味や今日から実行できる機会を考える
2	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で行動が継続できる様に考える
3	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解すると共に、自分自身への約束を守る大切さを学ぶ
4	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解し、どの様な状況でも一時停止ボタンを使い主体的に判断・行動していくことの大切さを考える
5	言霊 ～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
6	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を優先順位を考えながら整理していく大切さを学ぶ

7	選んだ道と選ばなかった道	自分の選択は自分の気持ち次第であり、自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
8	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
9	人生のビジョン	10年後のなりたい自分を考えることにより、入学時に考えた「卒業時の姿」をより具体的に考える
10	自分の価値観を知る	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深堀りすることで、将来のなりたい姿を具体的にイメージできるプロセスを学ぶ
11	大切なことは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」は、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功的振り返り	主に私的成功的習慣（前期授業内容）の復習（知識確認）
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	デッサン・イラストレーション		
必修選択	選択	(学則表記)	デッサン・イラストレーション		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科		2 30
使用教材	スケッチブック 鉛筆 (H HB B 2B 3B) 練りゴム カッター 30cm 定規 色鉛筆			出版社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	観察力と洞察力を養い芸術を理解する				
到達目標	基本的な形・人体を描くことで人体の理解ができるようになっている。 エステやネイル、メイクやヘアのデザインを理解できるようになっている。				
評価基準	テスト 40%、提出物 40% 授業態度等 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	春藤 聰子			実務経験	○
実務内容	ブライダルジュエリーの販売・デザインアドバイザー				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	デッサンとは 鉛筆の基本的な使い方	デッサンの必要性について 用具使用方法と鉛筆の削り方、グラデーション練習
2	基本的な形態の描き方	基本的な形の描き方について
3	人体の描き方①	パーツの描き方について
4	人体の描き方②	顔と髪型の描き方について
5	人体の描き方③	人体の書き方について

6	基本的な形態の描き方（色彩）	色相・彩度・明度を混色で理解する、グラデーション練習
7	色彩実験とグラデーション練習	着彩について
8	模写と着彩①	デザインを考案し着彩する
9	平面構成①	コラージュやデザインなどいろいろな表現方法、技法について
10	平面構成②	コラージュやデザインなどいろいろな表現方法、技法について
11	平面構成③	コラージュやデザインなどいろいろな表現方法、技法について
12	作品制作①	これまでの学習を基本にヘアデザインや衣装等を含めてデザインを考案・作成
13	作品制作②	これまでの学習を基本にヘアデザインや衣装等を含めてデザインを考案・作成
14	作品制作③	これまでの学習を基本にヘアデザインや衣装等を含めてデザインを考案・作成
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	皮膚学 I		
必修選択	選択	(学則表記)	皮膚学 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編 I			出版社	日本エステティック協会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・皮膚の基礎知識・美容上大切な皮膚の 6 つの働き ・皮膚の生理作用・肌の美しさを損ねる要因				
到達目標	肌を美しく健康に保つためのスキンケアの方法をクライアントに提案することができる				
評価基準	筆記試験 60%・小テスト 20%・授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	生理学 I・ベーシックエステ I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石山 広美	実務経験		<input checked="" type="radio"/>	
実務内容	看護師として、循環器内科、脳神経外科、救急外来等勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	皮膚学 I オリエンテーション 皮膚の基礎知識 ①	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1. 生体における皮膚の役割 2、皮膚の構造と働き (1) ~ (2)
2	皮膚の基礎知識 ②	2、皮膚の構造と働き (2) (3) 肌理について
3	皮膚の基礎知識 ③	2、皮膚の構造と働き (4)
4	皮膚の基礎知識 ④	2、皮膚の構造と働き (5) 皮脂腺・立毛筋
5	皮膚の基礎知識 ⑤	2、皮膚の構造と働き (5) 立毛筋 (6) (7)

6	皮膚の基礎知識 まとめ 筆記テスト	成績評価①皮膚の基礎知識（断面図・名称）グループ 成績評価②筆記テスト
7	美容上大切な 6 つの働き ①	1、皮脂膜 2、角質バリア
8	美容上大切な 6 つの働き ②	3、表皮ターンオーバー 4、メラノサイトの働き
9	美容上大切な 6 つの働き ③	5、毛細血管の働き 6、繊維芽細胞 7、皮膚の働きのバランス テスト返却 成績評価③美容上大切な 6 つの働き まとめ（ワーク）
10	皮膚の生理作用 ①	皮膚の生理作用（1）～（6）保護・体温調節・分泌・吸収
11	皮膚の生理作用 ②	皮膚の生理作用（7）～（9）ビタミン D 合成・貯蔵・知覚／テスト対策
12	筆記テスト 肌の美しさを損ねる要因 ①	成績評価④ 筆記テスト 美容上大切な 6 つの働き 1、紫外線
13	肌の美しさを損ねる要因 ②	2、寒気 3、乾燥 4、加齢
14	肌の美しさを損ねる要因 ③	5、女性のリズム 6、精神的ストレス 7.胃の不調 8、生活習慣 小テスト
15	総合授業	総合復習 まとめグループ 前期総復習（個人）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	生理学 I		
必修選択	選択	(学則表記)	生理学 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編 I			出版社	日本エステティック協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する ・骨格系・筋系・神経系		
到達目標	体を美しく健康に保つためのボディケアの方法をクライアントに提案することができる		
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト 20%・授業態度(グループワーク or 課題作成)、提出物など 20%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン		
関連科目	皮膚学 I ・ベーシックエステ I		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石山 広美	実務経験	○
実務内容	看護師として、循環器内科、脳神経外科、救急外来等勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	生理学 I オリエンテーション 生命と適応進化の歴史 生命活動とホメオスタシス 1	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1. 生命とは 2. 生命 40 億年／はるかな旅 3. 生命の適応進化とエステティック 1. ホメオスタシスの定義と発見 2. ホメオスタシスの実際
2	生命活動とホメオスタシス 2	3. ホメオスタシスの具体例 ホメオスタシスを制御する仕組み
3	生命活動とホメオスタシス 3	ホメオスタシスを乱すストレス
4	身体の基本 1	ホメオスタシスを乱すストレス (小テスト) 1. 身体の構成

5	身体の基本 2	1. 身体の構成 2. 身体の設計図 3. 身体を構成する物質 4. 血液 物質運搬
6	身体の基本 3	4. 血液 物質運搬 筆記試験範囲まとめ ／ グループワーク or 課題作成(成績評価対象)
7	骨格系・筋系 1 ・ 筆記試験	成績評価①筆記試験 ／ 1. 体区分 2. 骨格 (1) ①骨の役割
8	骨格系・筋系 2	2. 骨格 (1) ②骨の構造と代謝 ③関節 ④骨格の構成 (頭蓋骨)
9	骨格系・筋系 3	2. 骨格 (1) ④骨格の構成 (脊柱・胸骨・上肢骨・下肢骨・骨盤)
10	骨格系・筋系 4	3. 筋系 (2) ①筋肉の役割 ②筋肉の種類 ③骨格筋 ④骨格筋の構成 ⑤速筋と遅筋
11	骨格系・筋系 5	3. 筋系 (2) ④骨格筋の構成 ⑤速筋と遅筋 筆記試験範囲 まとめ ／ グループワーク or 課題作成(成績評価対象)
12	神経系 1 ・ 筆記試験	成績評価② 筆記試験 1. 神経細胞 2. 神経系の種類
13	神経系 2	3. 中枢神経 (1) - (4)
14	神経系 3	4. 末梢神経
15	総合授業	総まとめを行う 復習問題 小テスト

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	栄養学 I		
必修選択	選択	(学則表記)	栄養学 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編 II			出版社	日本エステティック協会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する ・ 5 大栄養素・栄養所要量・食物摂取とその消化吸收				
到達目標	栄養学の基礎知識を理解し、食事と健康・5 大栄養素・栄養所要量についてアドバイスができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト 20%・授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	戸田 歩美		実務経験	<input checked="" type="radio"/>	
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 栄養学の基礎知識 5 大栄養素 1	オリエンテーション 1. 栄養素の種類 2. 5 大栄養素、栄養素とは
2	栄養学の基礎知識 5 大栄養素 2	1. 栄養素の種類 2. 5 大栄養素 (1) 蛋白質
3	栄養学の基礎知識 5 大栄養素 3	2. 5 大栄養素 (2) 脂質
4	栄養学の基礎知識 5 大栄養素 4	2. 5 大栄養素 (3) 糖質 (4) 炭水化物

5	栄養学の基礎知識 5大栄養素 5	3大栄養素のまとめ
6	栄養学の基礎知識 5大栄養素 6	2. 5大栄養素（5）無機質
7	栄養学の基礎知識 5大栄養素 7	2. 5大栄養素（5）ビタミン
8	5大栄養素 まとめ	1～7回のまとめ
9	筆記テスト	栄養素の種類・5大栄養素 成績評価①
10	栄養学の基礎知識 栄養価 1	3. 栄養価 4. 栄養所要量（1）基礎代謝
11	栄養学の基礎知識 消化吸收	5. 食物摂取とその消化吸收（1）（2）
12	栄養学の基礎知識 まとめ	9～11回のまとめ
13	筆記テスト	栄養価・栄養所要量・食物の消化吸收 成績評価②
14	総まとめ	食事バランスガイドの実践
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目的基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	香粧品学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	香粧品学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ			出版社	日本エステティック協会
科目的基礎情報②					
授業のねらい	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。 ・化粧品概論・ネイル、メイク、ヘアケア化粧品・フレグランス・化粧品の原料				
到達目標	化粧品の基礎知識を理解し、安全に使用することができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト 20%・授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	ベーシックエステⅠ・ベーシックメイクⅠ・ベーシックネイルⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	樋田 早苗		実務経験	<input checked="" type="radio"/>	
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャン・管理職として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	香粧品学Ⅰ オリエンテーション	オリエンテーション
2	化粧品概論 1	1. 化粧品・医薬部外品と薬機法
3	化粧品概論 2	2. 化粧品の分類
4	化粧品概論 3	3. 化粧品の品質と品質保証
5	化粧品概論 4	4. 化粧品の取り扱い上の留意点

6	化粧品概論 5	まとめ
7	筆記試験	化粧品概論 成績評価①
8	メイクアップ化粧品 1	1. メイクアップ化粧品の目的と働き 2. ベースメイクアップ料 3. ポイントメイクアップ料
9	メイクアップ化粧品 2	着色料について
10	ネイル化粧品	1. ネイル化粧品の目的と働き 2. ネイルポリッシュ 3. ポリッシュリムーバー
11	ヘアケア化粧品	1. ヘアケア化粧品の目的と働き 2. 洗髪料 3. 育毛料 4. ヘアスタイリング料 5. トリートメント長 6. パーマネントウェーブ料 7. 染毛料、ヘアブリーチ
12	フレグランス	1. フレグランスの目的と働き 2. 女性用香水 香水以外のフレグランス商品
13	まとめ	メイクアップ化粧品・ネイル化粧品・ヘアケア化粧品・フレグランス総合まとめ
14	筆記試験	メイク・ネイル・ヘアケア化粧品・フレグランス 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック概論・衛生学・関係法規 I		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック概論・衛生学・関係法規 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編III			出版社	日本エステティック協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準と衛生管理・感染症について理解する。		
到達目標	エステティックに関わる法律を理解し、安全に施術を行うことができる		
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト 20%・授業態度、提出物など 20%		
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 		
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	樋田 早苗	実務経験	○
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャン・管理職として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション エステティックの概念	オリエンテーション 1. エステティックとは何か 2. 内面美容としてのエステティック
2	エステティックの本質と領域 1	1. エステティックの語源と歴史
3	エステティックの本質と領域 2	2. エステティックの領域
4	ソワンエステティック 1	1. ソワンエステティックの語源 2. 目的と期待される効果
5	ソワンエステティック 2	3. スキンタッチの重要性 4. 五感美容

6	美と健康 エスティシャンとしての心構え	1. 健康美は心身のバランスから 2. ウェルネス 3. アンチエイジング 1. エスティシャンの資質 2. ホスピタリーマインドの意義
7	日本のエスティック 世界のエスティック	1,日本のエスティック 2,世界のエスティック
8	筆記試験	エスティックの概念～エスティシャンの心構え 成績評価①
9	公衆衛生	1. 公衆衛生とは 2. 世界における公衆衛生の歴史 3. 日本における公衆衛生の歴史
10	衛生管理 1	1. 衛生管理全般 2. 消毒方法の種類とその基本的な使用法
11	衛生管理 2	3. 消毒の準備・用具 4. 施術に関わるもの消毒方法
12	感染症 1	1. 感染のメカニズム
13	感染症 2	2. エスティックに関連する感染症
14	筆記試験	前期総合 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目的基礎情報①							
授業形態	演習	科目名	ベーシックエステⅠ				
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックエステⅠ				
開講				単位数	時間数		
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	60		
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ クリエーヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類		出版社	日本エステティック協会			
科目的基礎情報②							
授業のねらい	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。						
到達目標	ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。						
評価基準	実技試験 60%(成績評価全2回実施)小テスト 20%、授業態度・提出物 20%						
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 						
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン						
関連科目	皮膚学Ⅰ・生理学Ⅰ						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。						
担当教員	澤田 香奈	実務経験		<input checked="" type="radio"/>			
実務内容	エステティックサロン、プライダルエステサロンにてエステティシャンとして勤務 エステ機器の営業職として勤務						

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ベーシックⅠオリエンテーション ボディエステティックとは	自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 3. ルールについて・ベッドセッティング
2	接客マナー	笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい・基本動作・ベッド誘導 ボディトリートメント/手の使用部位・流れ（下肢後面デモ・練習）・下肢後面相モデル練習
3	ボディマッサージ 下肢後面①	手技練習・拭取り練習
4	ボディマッサージ 下肢後面②	下肢後面通し練習

5	ボディマッサージ 下肢後面③	下肢後面通し練習
6	ボディ実技試験	成績評価①
7	フェイシャルエステティックとは 接客マナー	フェイシャルエステティックの目的と効果・フェイシャルエステティックの流れ 事前準備・基本動作・ベッド誘導
8	フェイシャル クレンジング ①	クレンジング導入・デモ
9	フェイシャル クレンジング ②	クレンジング練習
10	フェイシャルマッサージ ①	マッサージ導入・デモ
11	フェイシャルマッサージ ②	マッサージ導入・デモ
12	フェイシャルマッサージ ③	マッサージ総合
13	フェイシャルマッサージ ④	マッサージ総合
14	フェイシャル実技試験	成績評価②
15	総合技術	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ベーシックネイルⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックネイルⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科		2 60
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式			出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、基礎的なケアカラー技術を実践できる				
到達目標	ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、JNEC 3級レベルを習得する				
評価基準	実技テスト 30%、筆記テスト 30%、小テスト 20%、宿題及び授業態度他 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級				
関連科目	生理学・皮膚学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	越後谷 南水	実務経験		<input checked="" type="radio"/>	
実務内容	ネイルサロン経営				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	教材配布・歴史・技術体系・面取り・ウッドスティック整え方	教材配布(名称及び説明)・今後の説明・歴史・技術体系・ファイルの面取り・ウッドスティック整え方
2	ネイル概論（爪の構造と働き） ネイルの為の皮膚科学 テーブルセッティング ファイリングデモ・実技 (トレーニングハンドにてデモ・実技は自分の爪)	爪の構造・皮膚学（皮膚学の教科で学んでいる内容との相違と不足分を学ぶ） 検定に準じたテーブルセッティングを学ぶ トレーニングハンドを使用し、ファイリングの手順、5パターンのカットスタイルの違いを理解する ライトを使用する（A L 方式）

3	消毒法 ファイリング実技（相モデル）・バッフィング ケア デモンストレーション（プッシュアップ・プッシュバック）	消毒衛生を理解する ファイリング相モデル・バッフィングの方法を学び、実践する ケアのデモンストレーションでプッシュアップ・プッシュバックを学ぶ
4	ネイルのための生理学Ⅰ・Ⅱ ケア デモンストレーション（プッシュアップ・プッシュバック・ニッパーの使い方） ケア実技	生理学の教科で学んでいる内容との相違と不足分を学ぶ 正しい使用方法、手順を学ぶ ケアだけのデモンストレーションをプッシュアップ～ニッパーまで学び、実践する
5	ケア実技（相モデル）	両手を通しての手順を覚える
6	化粧品学 カラーリング デモ シートまたはチップ実技 カラーリング実技（相モデル）	香粧品学の教科で学んでいる内容との相違と不足分を学ぶ シートまたはチップを使用し、ボトルの持ち方、ポリッシュの量、塗り方を学ぶ（持ち塗り、置き塗り）
7	爪の病気とトラブル 爪の異常 ケア・カラーリング実技	爪のトラブルを学ぶ カウンセリング～ケア～カラーリングまでの手順を学ぶ
8	検定注意事項3級検定DVD ケア・カラーリング実技	検定に向けて手順を完全に理解する
9	ポリッシュアートとペイントアート 講義・デモ・実技 シート練習 アート練習(チップ)	検定以外の基本のアートを学ぶ (フレンチ・シボレー・ファン・マープル他) アクリル絵の具使用のペイントアートを学ぶ (ドット・ライン・ベタ塗りなどと共に花や葉などの基本形とバランス・色合い) テーマを決めアート練習 ※チップにラウンド・アートの宿題
10	アート練習 カラー・アート（相モデル）	同上
11	ケア・カラー・アート実技 筆記試験対策	検定の実技練習 ※チップにラウンド・カラー・アートの宿題 筆記試験対策を行う
12	筆記試験（テスト） 検定実技	検定の実技練習 ※チップにラウンド・カラー・アートの宿題
13	実技試験（テスト）	検定の実技にてタイムトライアル ※チップにラウンド・カラー・アートの宿題
14	検定実技（タイムトライアル）	検定の実技にてタイムトライアル ※チップにラウンド・カラー・アートの宿題
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）			出版社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(後期)				
関連科目	検定メイクⅠ、検定メイクⅡ、ベーシックメイクⅡ、ヘア&メイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	竹之内 詩織、北 このみ	実務経験		<input checked="" type="radio"/>	
実務内容	竹之内 詩織：美容部員として接客・販売業全般 北 このみ：美容部員として接客、店長としてマネジメント業務全般				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	スキンケア	スキンケア(手順)、反復練習
3	スキンケア/ベースメイク	スキンケア復習、 ベースメイク(手順)
4	スキンケア/ベースメイク	スキンケアテスト 10 分 ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗り)
5	ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り

6	ベースメイク/ポイントメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ) ポイントメイク(アイシャドウ)
7	セルフメイク	セルフメイク
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
9	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
10	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ＆ローライト)
11	フルメイク	ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う
12	フルメイク	フルメイクテスト 35分×2、ベーシックテクニックの振り返り
13	ソフト	フルメイク(ソフト)
14	シャープ	フルメイク(シャープ)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書			出版社	株式会社 ADE CREATES

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける		
到達目標	就職活動に向けて準備・行動ができている状態		
評価基準	テスト：30% 提出物・課題：40% 授業態度：30%		
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	竹之内 詩織・下山 月	実務経験	○
実務内容	美容部員として接客・販売業全般		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人間力	これからの流れについて 継続力の大切さについて
2	夢	メイクの仕事について
3	人間力	人間関係の考え方について
4	夢	ネイルの仕事について
5	人間力	チャレンジすることの大切さについて 挨拶の大切さについて
6	夢	エステの仕事について

7	人間力	漢字から読みとる心の授業
8	夢	ブライダルの仕事について
9	人間力	継続力が成果を生む・メティスについて
10	夢	ヘアーアレンジ（美容師）の仕事について
11	人間力	感謝の心について
12	夢	若手実業家について
13	人間力	チームワークについて
14	夢	礼儀について
15	人間力	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カラーコーディネートII		
必修選択	必修	(学則表記)	カラーコーディネートII		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新配色カード パーソナルカラーコーディネート検定テキスト パーソナルカラーコーディネート検定課題集		出版社	日本色研事業(株) クリエスクール	

科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識、法則、技法を理解する。		
到達目標	パーソナルカラーコーディネート検定に合格する。 美容の現場で色に関して適切な提案ができるようになる。		
評価基準	テスト 30%、検定試験 30%、提出物 20%、授業態度 20%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	笹谷 幸恵	実務経験	<input checked="" type="radio"/>
実務内容	カラーリストとしてフリーで活動。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	アドバイス実践 (ファッショń)	ファッショńについて
2	アドバイス実践 (ヘアカラー・メイク)	ヘアカラー、メイクについて
3	アドバイス実践 (ネイル・ブライダル)	ネイル、ブライダルについて
4	総復習	検定試験に向けての総復習
5	総復習	復習と練習問題

6	検定対策授業	復習と練習問題
7	検定対策授業	復習と練習問題
8	検定対策授業	復習と練習問題
9	検定対策授業	復習と練習問題
10	検定対策授業	復習と練習問題
11	パーソナルカラーの判定①	パーソナルカラーの判定に必要な知識について
12	パーソナルカラーの判定②	パーソナルカラーの判定に必要な知識・実践について
13	4つのグループの具体化①	パーソナルカラー 4つのグループの特徴を理解し、グループを明確にする
14	4つのグループの具体化②	パーソナルカラー 4つのグループの特徴を理解し、グループを明確にする
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムII		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムII		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科		1 15
使用教材	7つの習慣」テキスト、夢のスケッチブック			出版社	ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を發揮して物事にチャレンジできる人材に成長する		
到達目標	・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を發揮できる様になる		
評価基準	小テスト／レポート：20% 授業態度：40% 提出物：40%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	キャリア支援／就職対策等		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	川野 愛佳	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
3	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
4	理解してから理解される	人の話の聞き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ぶ
5	相乗効果を発揮する	多様性や人と違いがあることに価値があることを学ぶ
6	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える

7	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続あり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
8	人生ビジョンを見直そう	自らが立てたライフプランを現実的な視点から見つめ、必要な軌道修正を考える
9	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高めていく
10	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
11	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
12	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的uccessが公的successに先立つことを理解する
13	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラム授業で学んだことの復習（知識確認）
14	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える
15	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策II		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書			出版社	株式会社 ADE CREATES

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける		
到達目標	就職活動に向けて準備・行動ができている状態		
評価基準	テスト：30% 提出物・課題：40% 授業態度：30%		
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	竹之内 詩織・下山 月	実務経験	○
実務内容	竹之内 詩織：美容部員として接客・販売業全般 下山 月：美容部員として接客・販売業全般		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人間力	オリエンテーション
2	人間力	担任の想い
3	人間力	集団で良いチームを作る①
4	人間力	集団で良いチームを作る②
5	夢	卒業生講話
6	人間力	感謝について

7	夢	卒業生講話
8	夢	卒業生講話
9	人間力	感謝について
10	夢	専門コースについて
11	夢	専門コースについて
12	夢	専門コースについて
13	人間力	2年次の自分を想像する
14	夢	春休みの就職活動について
15	夢	春休みの就職活動について

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	サロンマナーII		
必修選択	必修	(学則表記)	サロンマナーII		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	サービス接遇検定公式テキスト3級 サービス接遇検定実問題集3級 就職ハンドブック			出版社	早稲田教育出版
科目の基礎情報②					
授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける				
到達目標	サービス接遇検定3級に合格する。 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。				
評価基準	テスト 40%、検定試験 30%、課題・提出物 20%、授業態度 10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	サービス接遇検定3級				
関連科目	就職対策				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	菅田 美穂		実務経験	<input checked="" type="radio"/>	
実務内容	医療機関にて局長秘書として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	検定対策授業	復習と練習問題
2	検定対策授業	復習と練習問題
3	検定対策授業	復習と練習問題
4	検定対策授業	復習と練習問題
5	検定対策授業	復習と練習問題

6	検定対策授業	復習・検定問題の解答・解説
7	履歴書作成①	履歴書とは、履歴書のマナー、履歴書の書き方について
8	履歴書作成②	履歴書作成
9	社交文書 ①	縦書き・横書きレイアウトについて 文書の種類・文書の構成・頭語と結語・時候の挨拶・前文、末文の慣用句
10	社交文書 ②	郵便の基礎知識～宛名の書き方、返信はがき、お礼状、送付状について
11	理想の美容従事者像	お客様から愛され・親しまれる美容従事者について
12	実技演習①「受付～誘導」	受付から誘導のロールプレイング演習
13	実技演習②「面接練習」 実技演習③「電話応対」 実技演習④「お茶出し」	面接試験の種類とチェックポイントについて 面接ロールプレイング
14	同上	電話のかけ方・受け方、伝言メモ、予約電話のシミュレーション
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	SNS・WEB・フォトスキル		
必修選択	選択	(学則表記)	SNS・WEB・フォトスキル		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	なし			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようになる。		
到達目標	顧客の共感や集客につながるメッセージや写真を Twitter、Instagram、LINE@などの SNS や WEB を通じて発信できるようになる。各コンテンツの基礎知識から運用ルールを把握、理解し、実践できるようにする。		
評価基準	テスト 40%、提出物 30% 授業態度等 30%		
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が掃除回数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上のもの 		
関連資格			
関連科目	フォト & ファッション		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	平野 あさみ	実務経験	<input type="radio"/>
実務内容	美容部員として接客・販売業全般、メイクアップアーティストとしてレクチャーや広報（SNS 等）を実施		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	WEB マーケティングと SNS	SNS アカウント運用、広告、HP、LP の役割、ペルソナの設定などの基礎知識の講義
2	Instagram マーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
3	Twitter マーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
4	公式 LINE アカウントマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
5	Youtube マーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
6	Facebook/Tiktok などの各種 SNS について	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表

7	炎上防止と炎上があった際の対策	ケーススタディ
8	画像撮影、加工の基礎	講義+実践
9	写真の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
10	動画の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
11	ライティングの基礎	講義+実践(9回目、10回目で撮影した写真・動画を使ってSNSの更新を行う)
12	ランディングページ(LP)を作ってみよう	SNSで人気のあるLPの紹介と簡易LP構築ツールを使用したLPの作成
13	WEB・SNS広告の概要と基本思想	講義(リスティング、SNS、GDN、YDN)それぞれの効果的な活用方法と特徴
14	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法を学ぶ
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	皮膚学II		
必修選択	選択	(学則表記)	皮膚学II		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編 I		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・肌の美しさを損ねる要因・様々な肌状態・肌と環境・肌分析 ・免疫、アレルギーについて・様々な皮膚疾患				
到達目標	さまざまな肌状態をチェックすることができ、トラブルの原因を説明できる。				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト 20%・授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	生理学II・プロフェイシャルI(エステ)・ベーシックエステII(メイク)・フェイシャル&ボディI(トータルビューティー)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石山 広美	実務経験		<input checked="" type="radio"/>	
実務内容	看護師として、循環器内科、脳神経外科、救急外来等勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	皮膚学IIオリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説 前期の振り返り 小テスト成績評価対象
2	さまざまな肌状態 1	1. 肌意識の年代変化 2. 美しい肌
3	さまざまな肌状態 2	3. 衰えた肌
4	さまざまな肌状態 3	4. 色素沈着を起こした肌①

5	さまざまな肌状態 4	4. 色素沈着を起こした肌②
6	さまざまな肌状態 5 筆記テスト	筆記テスト① 成績評価① ／ 5. ニキビ①
7	さまざまな肌状態 6	5. ニキビ②
8	さまざまな肌状態 7	テスト返却 ／ ニキビ③
9	さまざまな肌状態 ／ 肌と環境	6. 肌荒れと敏感 1. 肌と地域気候 2. 肌と気象の季節区分
10	肌分析 ・ 筆記テスト	筆記テスト②成績評価② 1. 目的 2. 肌分析を行う上で考慮すべきポイント 3. 肌質チェック項目
11	肌分析	4. 肌タイプ ／ 肌分析（実践） 小テスト成績評価対象
12	免疫・アレルギーについて	テスト返却／免疫とは（免疫細胞の種類、免疫システム）／アレルギー
13	様々な皮膚疾患	様々な皮膚疾患 肌分析／肌トラブル（研究）
14	肌分析／肌トラブル（研究）	肌分析／肌トラブル（発表） 成績評価対象
15	総合授業	総合授業を行う ※メイクコース・ネイルコースは総復習を行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	生理学II		
必修選択	選択	(学則表記)	生理学II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ エステティシャンのための解剖生理学(エステコースのみ)			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する 感覚・内分泌系・呼吸器系・循環器系・消化器系・生殖器系・泌尿器系				
到達目標	さまざまな体質・体型・状態をチェックすることができ、トラブルの原因を説明できる。				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度(グループワーク)、提出物など20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	皮膚学II・エステティックカウンセリングI(エステ)・プロボディI(エステ)・ベーシックエステII(メイク)・ フェイシャル&ボディI(インナー)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石山 広美	実務経験		<input checked="" type="radio"/>	
実務内容	看護師として、循環器内科、脳神経外科、救急外来等勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	生理学IIオリエンテーション 末梢神経	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説 前期の振り返り 神経系 1. 感覚～外界情報の収集 (1) - (2)
2	感覚	1. 感覚～外界情報の収集 (4)
3	内分泌系 1	1. 内分泌系の役目 2. 各内分泌腺とホルモンの種類 (1)
4	内分泌系 2	2. 各内分泌腺とホルモンの種類 (2) - (7)

5	筆記テスト ／ 呼吸器系	筆記テスト①成績評価① 1. 呼吸のあらまし 2. 外呼吸と内呼吸 3. 呼吸器の構造 4. 呼吸運動
6	循環器系 1	1. 心臓の構造 2. 血液循環 (1) - (4)
7	循環器系 2	3. 心臓の興奮伝達系 4. 血管の種類と構造 5. リンパ系 (1) (2) ①②
8	循環器系 3	5. リンパ系 (2) ③④ ~ (5)
9	循環器系 3	循環器系まとめ 復習問題
10	循環器系 4	循環器系まとめ 小テスト
11	消化器系 1	1. 消化作用 2. 消化器系の構成 (1) - (4)
12	消化器系 2	2. 消化器系の構造 (5) - (7)
13	テスト ／ 泌尿器系	筆記テスト② 成績評価③ 1. 腎臓とは (1)
14	泌尿器系 ／ 生殖器系	1. 腎臓とは (2) (3) 2. 副腎とは 1. 月経のメカニズム 2. 妊娠 3. 胚葉分化
15	総合授業	総まとめを行う 感覚／内分泌系／呼吸器系／消化器系まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	栄養学II		
必修選択	選択	(学則表記)	栄養学II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編II エステティシャンのための栄養学			出版社	日本エステティック協会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。 ・栄養学から見た食品 ・健康と栄養・サプリメント・食品添加物				
到達目標	栄養学の基礎知識を理解し、健康と栄養・サプリメント・食品添加物についてアドバイスができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト 20%・授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	エステティックカウセリング(エステ)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	戸田 歩美	実務経験		<input checked="" type="radio"/>	
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	栄養学IIオリエンテーション	前期の振り返り
2	栄養学の基礎知識 食品 1	6. 栄養学から見た食品 (1)
3	栄養学の基礎知識 食品 2	6. 栄養学から見た食品 (2)
4	栄養学の基礎知識 食品 3	6. 栄養学から見た食品 (2)

5	栄養学の基礎知識 食品 4	6. 栄養学から見た食品（2）
6	筆記テスト	まとめ/成績評価①
7	健康と栄養 1	1. 栄養状態の判定 2. 肥満
8	健康と栄養 2	3. 中・老年期の栄養
9	健康と栄養 3	4. 美容と栄養
10	健康と栄養 4	まとめ
11	筆記テスト	栄養学の基礎知識（10月—11月分）健康と栄養 成績評価②
12	サプリメント	サプリメント
13	食品添加物	小テスト
14	まとめ ホームケアアドバイス	フェイシャル及びボディシートの ホームケアアドバイス内容
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目的基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	香粧品学II		
必修選択	選択	(学則表記)	香粧品学II		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科		1 15
使用教材	新エステティック学 理論編II			出版社	日本エステティック協会
科目的基礎情報②					
授業のねらい	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。 ・フェイシャル、ボディ化粧品・化粧品の原料・化粧品に用いられる薬剤とその働き				
到達目標	化粧品の基礎知識を理解し、安全に使用することができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト 20%・授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	エステティックカウセリング(エステ)・プロフェイシャルI・プロボディI(エステ)・ベーシックII(メイク)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	樋田 早苗		実務経験		○
実務内容	エステティックサロンにて、エステティシャン・管理職として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション 前期の振り返り
2	フェイシャル化粧品 1	1. フェイシャル化粧品の目的と働き 2. 洗顔化粧品
3	フェイシャル化粧品 2	3. 整肌化粧品
4	フェイシャル化粧品 3	4. 賦活化粧品
5	ボディ化粧品 1	1. ボディ化粧品の目的と働き 2. 洗浄料

6	ボディ化粧品 2	3. シェイプアップ料 4. サンケア料
7	ボディ化粧品 3	5. 制汗・防臭料 6. 浴用料 7. 脱毛料
8	筆記試験	フェイシャル・ボディ化粧品 成績評価①
9	化粧品の原料 1	1. 化粧品の使用目的と剤型タイプの特徴 2. 水性原料 3. 保湿剤
10	化粧品の原料 2	4. 油性原料
11	化粧品の原料 3	5. 界面活性剤 6. 高分子化合物 7. 着色料 8. 香料
12	化粧品に用いられる薬剤とその働き 1	1. 紫外線カット剤 2. 酸化防止剤 3. 防腐防カビ剤
13	化粧品に用いられる薬剤とその働き 2	4. 美白剤 5. 肌荒れ防止剤など 6. ニキビ用薬剤 7. 制汎防臭剤 化粧品の原料薬剤とその働き
14	筆記試験	化粧品の原料 薬剤とその働き 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ベーシックネイルII		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックネイルII		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式			出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ネイル技術の基本を学び実践でき、さらに基礎に加えて JNA 2 級課題である爪の補修・補強を学ぶ				
到達目標	JNEC3 級のネイル技術をマスターし、JNA 2 級取得が出来る技術				
評価基準	実技テスト 30%、筆記テスト 30%、3 級検定結果 30%、宿題及び授業態度他 10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級				
関連科目	生理学・皮膚学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	越後谷 南水	実務経験		<input checked="" type="radio"/>	
実務内容	ネイルサロン経営				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	JNEC3 級実技対策①	検定実技(タイムトライアル)
2	JNEC3 級実技対策②	検定実技(タイムトライアル)
3	JNEC3 級実技対策③	検定実技(タイムトライアル)
4	ポリッシュアート①	アート(フレンチ・ラメグラ) 相モデルにて
5	ポリッシュアート②	アート (マーブル・ウォーターマーブル) 相モデル
6	ポリッシュアート③	アート (トレンドアート) 相モデル

7	トリートメント①	ハンドトリートメント講義、デモ、ハンドトリートメント実技
8	トリートメント②	ケア・ハンドトリートメント 相モデル
9	シルクラップ①	プレパレーションデモリペア（シルクラップ）チップラップデモ、実技
10	シルクラップ②	リペア（シルクラップ）チップラップ相モデル
11	チップラップ①	リペア（チップラップ）相モデル
12	チップラップ②	リペア（チップラップ）相モデル
13	実技テスト	実技テスト（アート・チップラップ）
14	筆記テスト ハンドトリートメント実技	筆記テスト ハンドトリートメント実技
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ベーシックエステII		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックエステII		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	新エステティック学 技術編I・理論編III クリエーヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類			出版社	日本エステティック協会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する。				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、クライアントの状態・目的に合ったディープクレンジングを安全に行うことができる				
評価基準	実技試験 60%(成績評価全2回実施)小テスト 20%、授業態度・提出物 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	<p>認定エステティシャン</p> <p>認定フェイシャルエステティシャン</p> <p>認定ボディエステティシャン</p>				
関連科目	皮膚学I・生理学I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	澤田 香奈	実務経験		<input checked="" type="radio"/>	
実務内容	エステティックサロン、ブライダルエステサロンにてエステティシャンとして勤務 エステ機器の営業職として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ベーシックエステII オリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説前期の振り返り
2	ディープクレンジング(粒子有・無) 導入	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 ディープ洗顔(粒入り・無し)
3	ディープクレンジング(粒子有・無) 練習	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 ディープ洗顔(粒入り・無し)
4	ディープクレンジング(酵素)導入	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 スチーマー・ディープ洗顔(酵素)

5	ディープクレンジング(酵素)練習	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 スチーマー・ディープ洗顔（酵素）
6	ディープクレンジング総合	ケースワーク ※モデルの肌状態で（粒子有・なし・酵素＆スチーマー）選択：口頭試問
7	ディープクレンジング総合	ケースワーク ※モデルの肌状態で（粒子有・なし・酵素＆スチーマー）選択：口頭試問
8	実技試験	成績評価① ディープクレンジング総合
9	実技試験	成績評価① ディープクレンジング総合
10	ボディマッサージ 導入	デモ・下肢前面、拭取り
11	ボディマッサージ 練習	下肢前面、拭取り
12	ボディマッサージ 総合	下肢前面通し
13	実技試験	成績評価② ボディマッサージ 下肢前面 拭き取り
14	実技試験	成績評価② ボディマッサージ 下肢前面 拭き取り
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセリング		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセリング		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	化粧品ブランド資料・カルテ・カウンセリングシート等 筆記用具・ノート…ファイル			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの業界で求められる人材や接客においての言葉使いを学び、また化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける。		
到達目標	コミュニケーション(対人)能力を身につける。 接客サービスの提供が出来るようになる。		
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲 20%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	竹之内 詩織、北 このみ	実務経験	○
実務内容	竹之内 詩織：ブライダルメイク、撮影メイク等のヘアメイク全般 北 このみ：美容部員として接客、店長としてマネジメント業務全般		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイク業界の仕事とは	授業の目的目標、評価基準、授業ルール メイクの職種について／どんな人材が必要とされているかを理解する
2	メイクの仕事に就く上での、接客 マナー・注意点など	身だしなみ・接客用語・敬語・気遣いについて知る
3	スキンケア知識対策 化粧品ブランドのグループ分け	化粧品ブランド調べグループに分ける ブランドの特徴を知る
4	カウンセリングとは①	ビフォーアカウンセリングとアフターカウンセリング カウンセリング時の注意事項を理解する
5	カウンセリングとは②	信頼されるための話し方・聞き方・関わり方や声のトーンを理解する

6	カウンセリングシート・実践	記入の仕方（お客様に差し上げるシートには何を記入するのか） お客様のお悩みを聞き出し、要望をこたえるスキンケアを選ぶロールプレイング
7	接客マナー①	来店～施術までの動きを知る
8	接客マナー②	前回の復習 施術後～お帰りまでの動きを知る
9	スキンケア知識対策	ブランド化粧品を研究、今後カウンセリングに必要な知識を理解する
10	ベースメイク知識対策	ブランド化粧品を研究、今後カウンセリングに必要な知識を理解する
11	メイク知識対策①	ブランド化粧品を研究、商品プレゼン(ハンドタッチアップ含)
12	メイク知識対策②	ブランド化粧品を研究、商品プレゼン(ハンドタッチアップ含) テスト／振り返り
13	化粧品検定級対策① 間違いな美容知識をチェック	クレンジング～化粧くずれの対処法(小項目)
14	化粧品検定級対策② 間違いな美容知識をチェック	自分に似合う色の見つけ方～手や爪の特徴を学ぼう
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①							
授業形態	講義	科目名	検定メイク I				
必修選択	選択	(学則表記)	検定メイク I				
		開講		単位数	時間数		
年次	1年	学科	トータルビューティー科	3	45		
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト） メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト）		出版社				
科目の基礎情報②							
授業のねらい	メイクの基礎知識や技術を学びメイク検定合格をする。						
到達目標	検定の内容に沿ったメイク技術を身につける。 スキンケア・メイクアップテクニックを実践できる。						
評価基準	テスト 30%、検定取得 20%、提出物 30% 授業意欲 20%						
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者						
関連資格	メイクアップ検定ベーシック						
関連科目	ベーシックメイク I、検定メイク II、ベーシックメイク II、ヘア & メイク						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。						
担当教員	竹之内 詩織・下山 月	実務経験		<input checked="" type="radio"/>			
実務内容	竹之内 詩織：美容部員として接客・販売業全般 下山 月：美容部員として接客・販売業全般						

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、検定試験に向けて試験概要の伝達 フルメイク(ソフト)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)

6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
7	プレ検定	スキンケア 10 分・フルメイク 34 分行う テスト扱いとする
8	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)
9	アドヴァンス検定対策①	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの練習を行う
10	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの練習を行う
11	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの練習を行う
12	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの練習を行う
13	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、テストを行う
14	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、テストを行う 振り返りを行う
15	総合授業	まとめを行う